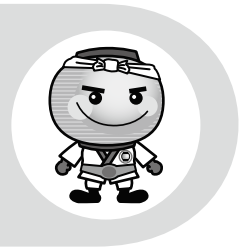


とばたぎ おん おお やま が さ

# 戸畑祇園大山笠のおこりと 歴史をたずねよう！



## ① ユネスコ無形文化遺産・重要無形民俗文化財！戸畑祇園大山笠行事

まいとし とばたく がつ だい どようび  
毎年、戸畑区では、7月の第4土曜日をはさんだ  
かかん むけいぶんかいさん くに じゅうようむけい  
3日間、ユネスコ無形文化遺産および国の重要無形  
みんぞくぶんかざい とばたぎおんおおやまがさぎょうじ おこな  
民俗文化財となっている戸畑祇園大山笠行事が行わ  
れます。

とばたぎおんおおやまがさ ひる うつく  
戸畑祇園大山笠は、昼は、はなやかで美しいのぼ  
やまがさ り山笠が、「ヨイトサ！ヨイトサ！」のかけ声とと  
もにまちをねり歩きます。夜になると飾りはずして、  
ある よる かざ ひかり  
309個のちょうちんを12段に重ねた「光のピラミッド」  
こ だん かさ ひかり  
ちょうちん山笠に姿を変えます。ちょうちん山笠は、  
やまがさ すがた か やまがさ  
たか やく おも やく  
高さ約10メートル、重さは約2.5トン(2,500Kg)に  
もなります。



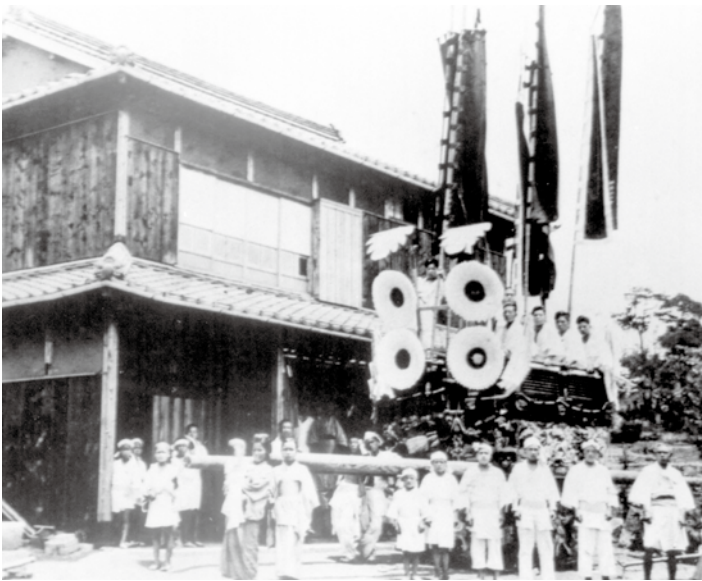
ひる やまがさ よる  
昼ののぼり山笠から夜の  
やまがさ ちから あ やまがさ  
ちょうちん山笠に力を合わせて  
すがた か  
姿を変えていくところは、  
みごとだよ！

やまがさ まえ ほう きく はな かたち まえはな うし  
のぼり山笠は、前の方に菊の花の形の「前花」、後ろ  
ほう えんけい み おく ほん おお た  
の方に円形の「見送り」があり、12本の大のぼりが立て  
どうどう  
られ、堂々としています。

## ②戸畑祇園のおこり

いま ねん まえ とばた わる びょうき ひと し  
 今から200年くらい前、戸畑で悪い病気がはやり、たくさんの人が死んでしまいました。そこで、  
 びょうき はや すがのおおかみ ねが びょうき  
 病気が早くおさまるように須賀大神にお願いしたところ、はやっていた病気がおさまったそうで  
 す。

そこで、ひと かみさま かんしゃ きも まつ とばたぎおん はじ  
 そこで、人びとが神様に感謝の気持ちをこめて祭りをしたのが、戸畑祇園の始まりです。  
 いま むかし まつ ちいき ひと やまがさ おも  
 今も昔も祭りがずっとつづいているのは、地域の人たちの山笠をつづけていく思いがあるから  
 です。



ねん しょうわ ねん やまがさ  
 1932年(昭和7年)ごろののぼり山笠



ねん しょうわ ねん さんぐうどお い  
 1935年(昭和10年)ごろ、参宮通りを行くちょう  
 やまがさ みぎ み いま とびはたはちまんぐう  
 ちん山笠。右に見えるのが今の飛幡八幡宮です。



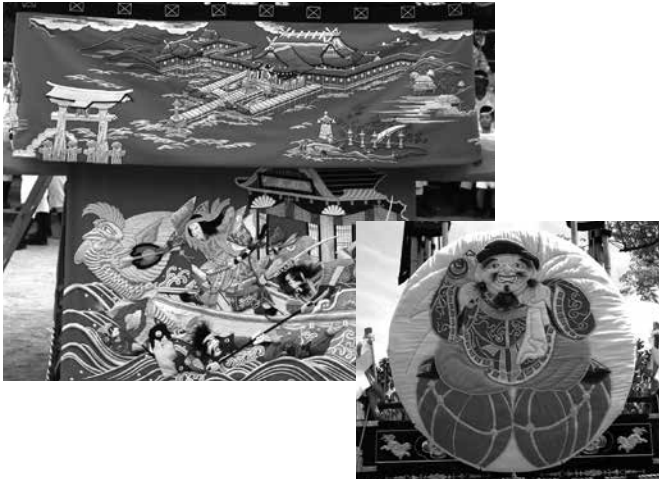
ねん しょうわ ねん やまがさ  
 1957年(昭和32年)ごろののぼり山笠



### ③まもる！戸畑祇園大山笠

とばたぎおんおやまがさ ひがしにし なかばる てんらいじ き おおやまがさ おおやまがさ  
戸畑祇園大山笠には、東・西・中原・天籟寺の4基の大山笠があります。それぞれの大山笠では、  
ちいき ひと ちから あ がつ まつ じゅんぴ がつげじゅん ほんばん  
地域の人がみんなで力を合わせて4月ごろから祭りの準備をし、7月下旬の本番にそなえます。

がつか まつ とばたくみん いちばん たの おおやまがさ き ちゅうがくせい こわかやまがさ  
7月の祭りは、戸畑区民の一番の楽しみです。とくに、大山笠4基、中学生のかつぐ小若山笠  
き せい きょうえんかい ぜんこく ひと おとず とばた たいへん  
4基が勢ぞろいする「競演会」のときには、全国からたくさんの人が訪れて、戸畑のまちは大変  
なにぎわいを見せます。



ひがしおやまがさ みおく だいこくてん  
東大山笠（見送りは「大黒天」）



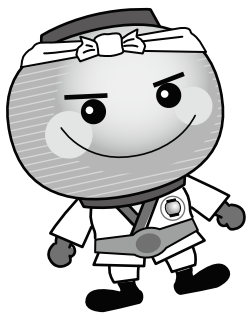
にしおやまがさ みおく ほてい  
西大山笠（見送りは「布袋」）



なかばるおやまがさ みおく てん ほうこう とら  
中原大山笠（見送りは「天に咆哮する虎」）



てんらいじおやまがさ みおく ぼたん からじし  
天籟寺大山笠（見送りは「牡丹に唐獅子」）



おおやまがさ みおく  
それぞれの大山笠は、「見送り」  
かざ じぶん ずがら ほこ  
や飾りなど自分たちの図柄があり、誇りをも  
とばたぎおんおやまがさ とばた  
っています。戸畑祇園大山笠をまもるため、戸畑  
ひと むかし たいへん どりょく  
の人たちは昔から大変な努力をつづけて  
きたんだね。

う ひろ とばたぎおんおやまがさ  
**④受けつく！広げる！戸畑祇園大山笠**



れんしゅう こ  
 おはやしの練習をする子どもたち

まつ な たいこ かね えんそう むかし  
 祭りで鳴らす太鼓や鉦の演奏にも、昔から、  
 それぞれの<sup>おやまがさ</sup>大山笠で決まりがあります。それ  
 ぞれの<sup>おやまがさ</sup>大山笠では、これを<sup>つた</sup>伝えていくために、  
 しょうちゅうがくせい えんそう おし  
 小・中学生に演奏のしかたを教えています。

がっこう きょうど けんきゅうかい  
 学校に「郷土クラブ」や「おはやし研究会」  
 などがあり、<sup>ちいき</sup>地域の人<sup>ひと</sup>が子ども<sup>こ</sup>たちに<sup>おし</sup>教<sup>え</sup>に  
 きているところもあります。

とばたぎおんおやまがさ まつ  
 戸畑祇園大山笠の祭りをまもり、さかんにす  
 もくてき <sup>ねん</sup> しょうわ <sup>ねん</sup> とばたぎおんお  
 る目的から、1972年（昭和47年）に戸畑祇園大  
 やまがさしんこうかい  
 山笠振興会ができました。

とばたぎおんおやまがさしんこうかい まいととし はじ  
 戸畑祇園大山笠振興会は、毎年年の始めから  
 はな あ <sup>とうばんやま</sup> こうたいしき とばたぎおん  
 話し合いをもち、当番山の交代式や戸畑祇園ば  
 けんきゅうきょうえんかい とばたぎおんおやまがさきょうえんかい  
 やし研究競演会、戸畑祇園大山笠競演会などの  
 お世話<sup>せわ</sup>をしています。



とばたぎおん けんきゅうきょうえんかいしゅつえん こ  
 戸畑祇園ばやし研究競演会に出演する子どもたち



とばたぎおんおやまがさきょうえんかい がつだい どのうび  
 戸畑祇園大山笠競演会（7月第4土曜日）